



R.Kaji

THE TOKYO HIGH-JUMP

第26回 東京ハイジャンプ (J・GⅡ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 41,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,200,000円 4,100,000円
付加賞 315,000円 90,000円 45,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳58*₄歳以上60*₄、牝馬2*₄減、J・GⅠ競走1着馬2*₄増、J・GⅡ競走1着馬1*₄増

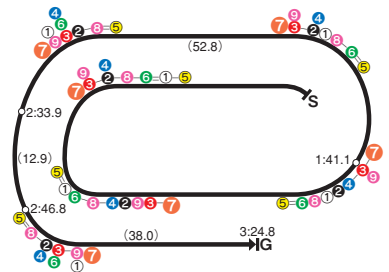
2024.10.13 東京 晴・良 芝3110*₄ (混全)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	平均 1ハロン	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師
1	⑦	ジューンベロシティ	牡	6	60	高田 潤	3:24.8	1-1-1-1	13.2	478(+10)	1.7①	武 英智(栗東)
2	①	エコロデュエル	牡	5	60	草野太郎	2	6-6-2-2	13.2	488(+14)	6.9③	岩戸孝樹(美浦)
3	⑨	オールザワールド	牡	7	60	森 一馬	3	2-2-2-2	13.2	472(+2)	7.5④	中竹和也(栗東)
4	⑧	ニシノテイジ	牡	8	62	五十嵐雄祐	2½	8-8-4-4	13.2	506(+2)	6.5②	高木 登(美浦)
5	③	ゲイティックレバー	牡	9	60	大江原圭	¾	2-2-4-4	13.3	468(+4)	47.5⑧	清水英克(美浦)
6	⑥	ブラックボイス	牡	5	60	石神深一	1¾	7-7-8-8	13.3	512(-8)	8.2⑤	宮田敬介(美浦)
7	②	アサクサゲンキ	騾	6	60	小牧加矢太	クビ	5-4-7-6	13.3	470(-8)	18.0⑥	音無秀孝(栗東)
8	④	サクセスエース	牡	6	60	上野 翔	½	4-4-4-6	13.3	490(-6)	25.0⑦	竹内正洋(美浦)
9	⑤	ジェミニキング	騾	6	61	小坂忠士	大差	9-9-9-9	13.6	492(±0)	63.0⑨	庄野靖志(栗東)

単勝⑦170円(1¼) 複勝⑦110円(1¼) ①160円(2¼) ⑨160円(4¼) 枠連①-⑦630円(3¼)

馬連①-⑦580円(2¼) ワイド①-⑦240円(2¼) ⑦-⑨280円(4¼) ①-⑨620円(8¼)

馬単⑦-①760円(1¼) 3連複①-⑦-⑨1,100円(3¼) 3連単⑦-①-⑨3,110円(4¼)



上り1マイル: 1:43.7 上り: 800*₄ 600*₄
50.9 - 38.0

アラカルト

- ・高田潤騎手はオースミューンで制した13年に続く東京ハイジャンプ2勝目。J R A重賞は本年2勝目、通算22勝目
- ・武英智調教師は東京ハイジャンプ初勝利。J R A重賞は本年4勝目、通算12勝目
- ・ロードカナロア産駒はJ R A重賞通算73勝目
- ・6歳馬の勝利は17年オジュウチョウサンに続く通算7回目

牡 青鹿毛 2018.4.10生
北海道浦河町 ヒダカファーム生産
馬主・吉川潤氏 栗東・武英智厩舎
馬名意味・冠名+速度

デビルズブライドUSA系 F10-e		
ロードカナロア 鹿毛 2008	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo
		マンファスIRE
	レディブラッサム 鹿毛 1996	Storm Cat
		サラトガデュースA
アドマイヤサブリナ 芦毛 2010	シンボリクリスエスUSA 黒鹿毛 1999	Kris S.
		Tee Kay
	ツインクルヴェール 芦毛 2001	サンデーサイレンスUSA
		ツインクルブライド

5代までのインブリード：Northern Dancer S5×M5 Hail to Reason M5×M5

INTERVIEW

近藤光将専務(ヒダカファーム)

ドキドキしながら見ていました

いつものように好スタートを切りましたが、その後はこれまでのレースとは違い、他馬にマークされながら逃げていたので、道中はドキドキしながら見ていました。これで重賞2連勝、よく頑張ってくれました。次は中山大障害の予定です。今がJ・G Iを勝つチャンスだと思いますし、馬自身のためにもJ・G Iという勲章をぜひ取ってほしいと願っています。

父ロードカナロア

北海道新ひだか町 ケイアイファーム生産 中央、香19戦13勝(香港スプリント^G₁2回、安田記念^G₁、スプリンターズ^S_G₁2回、高松宮記念^G₁)、年度代表馬、最優秀短距離馬2回、14年から供用。20〜23年日本リーディング2位。
(代表産駒) **アーモンドアイ**(ジャパンC^G₁2回、ドバイターフ・首^G₁、天皇賞(秋)^G₁2回、桜花賞^G₁、オークス^G₁、秋華賞^G₁、ヴィクトリアマイル^G₁)、**サートゥルナーリア**(皐月賞^G₁、ホープフル^S_G₁)、**ダノンスマッシュ**(香港スプリント^G₁、高松宮記念^G₁)、**パンサラッサ**(ドバイターフ・首^G₁、サウジC・沙^G₁)、**ペラジオオペラ**(大阪杯^G₁)、**ステルヴィオ**(マイルチャンピオンシップ^G₁)、**タガロ** Tagaloo(ブルーダイヤモンドS・豪^G₁)、**ファストフォース**(高松宮記念^G₁)、**フレディウェグ**(エリザベス女王杯^G₁)、**ダノスコピーオン**(N HKマイルC^G₁)、**レッドゼル**(JBCスプリント^J₁)、他に重賞勝ち馬多数

母アドマイヤサブリナ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央30戦3勝(桑名特別)

ジュンペロシティ 本馬(18 牡父ロードカナロア)中央22戦2勝、障害13戦6勝(東京ハイジャンプJ・G_{II}、東京ジャンプS J・G_{III}2回、阪神ジャンプS J・G_{III}、中山グランドジャンプJ・G_I 2着)獲得総賞金236,517,000円

ジュンオレンジ(20 牝父ジャスタウェイ)中央18戦4勝(白秋S、下北半島特別、フィリーズレビュー^{GⅡ}3着)(現)

ジュンテイク(21 牡父キズナ)中央11戦3勝(京都新聞杯^{GⅡ}、こうやまき賞、
 神戸新聞杯^{GⅡ} 2着、すみれS・L2着)**現**
 (22 牝父ドレフォンUSA)

※19、23、24(不受胎)

祖母ツィンクルヴェール

北海道早来町 ノーザンファーム生産 中央2勝。19年用途変更

トーセンゲール(09 牝父クロフネUSA)中央0勝、地方1勝、**トーセンガ
ーネット**(東京プリンス賞、桜花賞、ニューイヤーク、関東オークス
J_nⅡ 3着、NAR3歳最優秀牝馬)、カイル(東京ダービー、金盃)の母
アドマイヤサブリナ(10 前出)

アドマイヤビクター(15 牝父ルーラーシップ)中央4勝(竹田城S)

曾祖母ツィンクルブライド

北海道早来町 社台ファーム生産 中央2勝(桜花賞^{G1} 2着、ポートアイランド^S^O_p 3着)、11年死亡、**パールギョント**(デイリー杯2歳^S_G^{II}、シンザン記念^G_{III}、高松宮記念^{G1} 2着、種牡馬)、**フェリシタル**(京成杯^G_{III} 3着)の母、**ミッキースフロー**(日経賞^G_{III}、セントライト記念^G_{III}、七夕賞^G_{III}、種牡馬)の祖母



A. Takeda

昨年の無念も晴らす4度目の重賞制覇

春の中山グランドジャンプで王座に返り咲いたイロコトシが屈腱炎を発症して戦列を離れ、混戦ムードが漂う秋の障害界。暮れの大一番を占う重要な一戦・東京ハイジャンプは出走馬9頭のうち6頭が重賞ウイナーと、中身の濃いメンバーによって争われた。なかでも単勝1・7倍と圧倒的な支持を集めたのが、6月の東京ジャンプSの覇導権を握った高田潤騎手はあまりベスを緩めずに逃げ、向正面から3、4コーナーにかけて隊列は縦長に。対して2、3番人気の支持を集めた2頭はともに自分のリズムを守って運び、2022年の中山大障害の覇者ニシノデイジは後方3番手、昨秋の京都ジャンプSの勝ち馬エコロデュエルはその3馬身ほど後ろで末脚を温存した。

者、ジューンベロシティ。6歳のロードカナロア産駒は、堂々の横綱相撲を演じて重賞連勝を飾り、頂点の座に向けて大きく前進した。

五分のスタートを切ってすぐにスピードに乗り、自然体で先頭に立つたのがそのジューンベロシティだった。主

スタンド前の連続障害で馬群は少し凝縮。ここでニシノデジの前に出たエコロデュエルは、2周目の向正面半ばからいち早く動き、4コーナーではジューンベロシティの背後に迫る。

一方のニシノデジも4番手まで進出し、レースは直線の攻防へ。とはい

え、軽快に風を切ってきたジューンベ
ロシティの余力は十分。直線の最終障
害を飛越後、懸命に追いつがるエコ
ロシティを再び突き放し、危なげのな
いフィニッシュを決めた。

4歳時の秋、平地2勝クラスから障害へ転身した本馬は昨年の東京ジャンプSで初の勲章を獲得、続く阪神ジャンプSも連勝し、障害界の新星と脚光を浴びた。今春の中山グランドジャンプは2着に敗れたものの、東京ジャンプSで連覇を果たし、この日は馬群に包まれて完全燃焼できなかった1年前（1番人気4着）の無念も晴らして重賞4勝目をマーク。充実期を迎えた印象の6歳馬は中山大障害へ進み、念願のJ・G・I制覇に挑む。